

営人 経法 敦賀は5年連続認定

健康 優良 セメ・コン関連も多数

経済産業省は4日、日本健康会議が運営する「健康経営優良法人認定制度」に基づく2021年度認定法人として大規模法人部門1081法人、中小規模法人部門7934法人が認定されたと発表した。セメント・コンクリート関連では中小規模法人部門で敦賀セメント（福井県）と新品川商事（大阪府）が5年連続で認定された。大規模法人部門の上位500

法人を「ホワイト500」、中小規模法人部門の上位536法人を「ブライト500」と認定し、セメント・コンクリート関連ではヤマコン（山形県）がブライト500として評価された。大規模法人部門でセメント・コンクリート関連は宇部興産やトクヤマ、東ソー、富士ピー・エスが認定された。敦賀セメント、新品川商事、ヤマコン以外の中小企業法人

は立石コンクリート（岩手県）、阿部砂利建設（宮城県）、東和砕石（同）、武井工業所（茨城県）、祥和コーポレーション（栃木県）、藤坂（同）、秩父太平洋セメント（埼玉県）、フコックス（東京都）、児玉コンクリート工業（同）、山崎ヒューマンコンクリート（新潟県）、日本海コンクリート工業（富山県）、日本ピーエス（福井県）、炭平コーポレーション（長野県）、揖斐川工業

（岐阜県）、太田コンクリート（三重県）、甲賀バラス（滋賀県）、矢倉ヒューム管工業（大阪府）、極東興和（広島県）、アジアパシフィックマリン（福岡県）、ヤマックス（同）などが認定を受けた。健康経営優良法人制度は地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みを基に「特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度」。健康経営に取り組む優良法人を「見える化」することで従業員や求職者、関係企業、金融機関などから「従業員の健康管理を

経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的」としている。